

日本ビジネスコミュニケーション学会 ニューズレター 第16号

学会ホームページ：<http://www.abcj.org/>

2012年7月11日

事務局長：堀内龍文 連絡先：info@abcj.org

目次

1. 関東支部春期大会6月20日 活動報告
2. 関西支部例会6月9日 活動報告
3. 本年度の年次大会11月11日同志社大学で開催予定のご案内
4. 前年度活動実績および今年度の活動予定、会費納入のお願い

6月20日（水）関東支部春期大会の報告

テーマ： 東日本大震災復興における危機への組織的対応 － 危機における、政府、企業、軍事組織の対応

東日本大震災が発生してから早くも1年以上が立ちました。復興に向けて、政府を初め、被災地の行政、地域の方々、企業、ボランティアの人達など、様々な組織や人達が取り組んでいます。

学会では昨年10月には「大震災と危機管理能力」をテーマに年次大会に行い、日本の組織の危機管理能力やリスクマネジメントのあり方について検討を行いました。また、今年3月には「東日本大震災とボランティア活動」として講演とパネル討論を行い、復興や援助のあり方を民間のボランティア活動の視点から検証しました。特にこのボランティアのシンポジウムでは、終了直後から参加者の学生から、「是非ボランティアに参加し復興に協力したい」との希望があり、シンポ開催の意義が有りました。

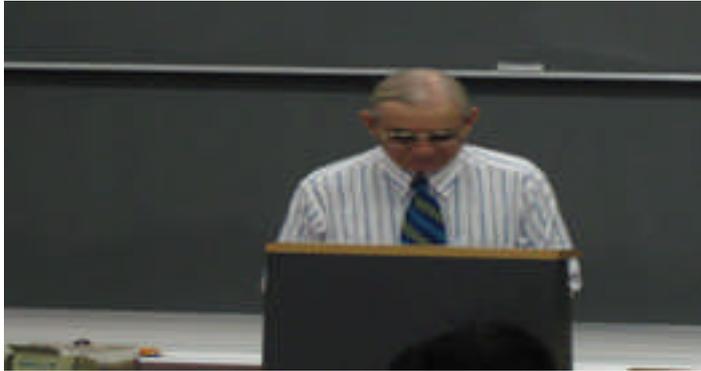
6月20日の支部春期大会では、これらの研究を踏まえて危機への対応や復興のあり方を政府、企業、自衛隊などの視点から考えました。平日の仕事の帰りに参加できるよう水曜日の夜に開催致しました。60名超えの参加者が集まり、非常に熱気のある、真剣な哲学的討議になりました。

日時：2012年6月20日（水） 18:00-20:40

場所：拓殖大学文京キャンパス国際交流会館 C館402

開会式：18:00～18:05 司会：中川 有紀子（慶應義塾大学産業研究所研究員）

開会挨拶： 川島彪秀副会長



基調講演：18:05～18:35

「東日本大震災における物流 — 政府の対応と企業の対応 —」
講師 芦田誠（拓殖大学商学部教授・経営経理研究所長）



東日本大震災直後の危機下における企業の迅速な物流復旧の事実をつぶさにご説明いただき、日ごろから“危機への対応”BCPプラン、リカバリープランを準備することの重要性を御講演いただきました。今、欧米では、Resilience（しなやかに復旧する力、復元力）という言葉の意味に注目され、組織のResilienceが、求められていることを学びました。

講演：18:40～19:00「危機への組織的対応—理論」
講師 平田透（金沢大学経済経営学系教授）



『流れを経営する』（世界的に知られる『知識創造企業』の野中郁次郎一橋大名誉教授との共著による書き下ろしの経営論。）を執筆された平田先生から、金沢大学教員と学生の皆さんの地道な東日本大震災被災地への継続的ボランティア活動の様子が映像から伝わってきました。前例のない事態への対応においては、瞬時に大きな決断をすることがリーダーには求められている。が、人間は全ての情報は持ち得ない、ある意味、「えいや」で決めることもある。一定の哲学、倫理観、価値観的なベースがあるかないかで大きく違い、“何が正しいことなのか？”正当性の基準を持つ必要があることを示唆していただきました。

講演：19：00～19:20

「マネージングフローのケーススタディ賢慮概念の理論的漸進に向けて」
講師成田康修（公益企業勤務）



「マネージング・フロー」理論のもとに、「個別の本質を洞察する能力」と「本質を表現する能力」の重要性を東日本大震災後の公益企業における危機的状況下のケーススタディ含めて説明していただきました。創発的状況と決定的状況の把握と対応が重要であることを示唆していただきました。

19：20～19:40 「危機における軍事組織の対応」

講師綿森昭示（航空自衛隊幹部学校勤務）



東日本大震災直後の自衛隊の災害派遣活動記録映像をもとに、「東日本大震災への自衛隊の対応」の概要について活動概要、活動実績、そして教訓事項について、ご説明いただきました。

パネルディスカッション：19：40～20：20

パネリスト司会：平田透



「流れを経営する」（野中郁次郎一橋大名誉教授との共著）を執筆された平田先生から、金沢大学教員と学生の皆さんの地道な東日本大震災被災地への継続的ボランティア活動の様子が映像から伝わってきました。危機においては、マニュアルよりも、瞬時に大きな決断をすることがリーダーには求められており、その軸は哲学にある。実践においては、立脚点を明確にする（ぶれない）、タイミングを逃さない、覚悟と責任を持つことを討議されました。



質疑応答：20：20～20：40

閉会挨拶：芦田誠（拓殖大学商学部教授・経営経理研究所長）

「結局、東日本大震災という危機に直面して、われわれは何を学んだか」もしくは「どんなことについて認識を新たにできたか」を討論できた非常に良い機会でした。我々が、現地へ行って感じたのは「日本の組織は“現場が”優秀だ」ということです。企業であれ自治体であれ自衛隊であれ、きっちりした理念と覚悟を持った人がいて、危機の現場を支えている。これが日本の組織の強みであり、それに反して、リーダー不在が課題として浮き彫りになっていることがわかりました。

報告者：中川有紀子

関西支部例会の報告

6月9日（土） 午後1時～ 大阪市立総合生涯学習センター

プログラム

1. 関西支部総会 1:00～1:30
会計報告 平成23年度支部決算／平成24年度支部予算・活動計画（平成24年度）
2. 基調講演 1:40～2:30 「大使館は何の役に立つのか？」／船越 博氏
元外務省勤務／外交官、元JICA、元関西外国語大学勤務



外務省40年勤務／11か国の外交官経験）に基づく、裏話を含め大変興味深いお話をお聞きしました。外交関係における日本の地盤沈下・したたかな外国の交渉力、日本のプレゼンスのあり方等々。その中の1つ：ロシアと中国は、現在活発に発言している領土問題では太平洋への出口を確保しようとしている両国は絶対に後には引かないだろうということも、今後の日本外交の難しさが分かる説明でした。

3. 研究発表 2:40～4:50
研究発表 1) 「ビジネスコミュニケーションの実践（1）ーヤクザ、暴力団組員に学ぶ交渉術」
松田 雄治

続く研究発表では 松田雄治様が研究されているケーススタディの中から、裏世界の話を聞き、参加者一同身を乗り出して聞き入りました。

- 研究発表 2) 「NPO大阪狭山小学校英語活動支援の会について」／中林 眞佐男



研究発表 2)は、関西支部長の中林眞佐男様より、ご自身が主催される小学校英語支援活動について発表がありました。

研究発表3) 「イタリア・ファッションビジネス・強さの秘密」－国際ビジネスにおける異文化理解－
弓場俊也 元商社マン、在日イタリア商工会議所大阪デスク・アドバイザー、大阪市立大学非常勤講師



ミラノファッションは全て「自己完結型」、即ち、素材から製品にいたるまで全てイタリア国内でイタリア人の手で行われるとのこと。ミラノファッションが流行ということはイタリアビジネスが発展することに直結しており、イタリア産業の構造的特徴なのです。もともと、Men's はイギリス、ladies' はフランスに出稼ぎに行っていたイタリア人が自国に戻り既製服、プレタポルテを立ち上げ、ミラノコレクションができたとのこと。

4. 閉会の挨拶 5:00

5. 懇親会：5:30～ 於「スーパードライ」 @¥3,000

研究会終了後、懇親会が阪神百貨店 B 2 の「スーパードライ」にて行われました。参加者は10名程。今日の出会いに感謝。



報告者：横江幸彦

2012年度ABCJ 年次大会 (予定)

11月11日(日) 同志社大学で開催予定

開催時間：10:30～17:00 / (17:30～懇親会)

同志社大学LCC (同志社校友会大阪支部産官学部会) と協賛

場所：I部 / 同志社大学寒梅館 (烏丸今出川) II部 / さいりん館 (京・室町二条、地下鉄丸太町)

テーマ：「日本再興とコミュニケーション」(案)

プログラム：

I部特別プログラム10:30～12:30 / 講演「八重の桜、裏の梅」

本井教授：同志社の歴史、新島襄研究の第一人者 (II部会場へ移動[徒歩10分])

昼食希望者は13:00～ 昼食 (お弁当) 於さいりん館 (京町屋) [要事前申込@¥500]

II部13:30～17:00 (年次大会)

13:30～14:00 ABCJ総会

14:10～15:00 基調講演

15:10～17:00 研究発表3人

III部17:30～約2時間懇親会 (同さいりん館) 参加費@¥4,000

昨年度活動実績と今年度の活動予定

昨年度の活動

4月 日中ビジネスフォーラム
(震災のため中止)
6月 日台シンポジウム
9月 第1回地域社会専門部会
10月 年次大会
11月 学生発表会予選
12月 関東支部会兼学生発表会決勝
2月 第1回ウェブコミュニケーション部会
3月 災害ボランティアシンポジウム

今年度の活動予定

6月9日 関西支部例会
6月20日 関東支部春期大会
9月26日 専門部会予定
10月中旬 専門部会、講演会
11月11日 年次大会 (同志社大学)
11月17日 学生発表会予選
11月21日 ワークショップ「社会人応用力」
12月1日 関東支部大会兼学生発表会決勝
2月中旬 専門部会
3月中旬 専門部会

会期年度は4月1日～翌年3月31日までです。

平成24年度会費納入のお願い

平成24年度より、各支部独立採算制度となり、会費(¥7,000)の納入は下の支部会計口座へ振込をお願いします。

関東支部

銀行：りそな銀行茗荷谷支店
店番：461 普通預金口座：1468474
名前：日本ビジネスコミュニケーション学会

関西支部

銀行：三井住友銀行
店番号194 普通口座3889419
口座名：日本ビジネスコミュニケーション学会
関西支部長中林眞佐男

以上